

目的

これまでの「小中連携・一貫教育」の土台の上に、新たな課題への対応を視野に入れて「小中一貫教育」を実践することで

- ☆子供たちの確かな学力を育みます
- ☆子供たちの生きる力の基礎を育みます
- ☆地域の将来の担い手・支え手を育みます

検討案

中学校区単位に
小中一貫校として
9つの『学園』をつくります

飯田東学園 飯田西学園 緑ヶ丘学園 竜東学園 竜峡学園 旭ヶ丘学園 鼎学園 高陵学園 遠山郷学園

教育目標がつながる

「中学校卒業時にめざす子供の姿」を、各学園の小中学校の先生・保護者・地域の皆さんが共有します。

教育活動がつながる

各教科の教育課程や、授業以外の特別活動において、9年間のつながりを意識した教育を行います。

子供たちがつながる

小中学生の交流機会も充実させて、異年齢の子供たちがつながり学び合う教育を行います。

先生がつながる

小中学校の先生が一つのチームになって、9年間の子どもの成長を見通しながら、連携・協働して教育活動を行います。

地域・学校・家庭がつながる

地域や保護者の皆さんが学校運営や教育活動に参画するコミュニティ・スクールの仕組みを活かして特色ある教育を行います。

① 小中一貫校では、通常の教科以外に「特設教科」を設定することができます。

「飯田のキャリア教育」を軸にしたカリキュラムを学園ごとに編成して、コミュニティ・スクール(地域に開かれ、地域とともにある学校)として地域の皆さんに参画・協働していただき、各学園ごとの地域特性や教育資源を生かした特色ある教育活動を進めます。

② 飯田市の小中一貫教育は、現在の小中学校の施設を用いた小中一貫校からスタートします。

③ 学園内の学校間移動に時間を要するため、職員連携や子どもたちの協働学習の場面ではICT(情報通信技術)を有効に活用します。

飯田のキャリア教育
(地育力で支える生き方学習)

- ☆ 自分で生き方を切りひらき、人とつながって生きることができる力をそなえ、ふるさとに心根をおいて、未来の地域の担い手や支え手になっていく人を、学校・地域・家庭が力を合わせて育みます。
- ☆ 地域の資源や課題を学習教材に、子供たちは多様な人と関わりながら、実体験を通じた探究的な学びを行ないます。

園保での学び

小学校部におけるキャリア教育

中学校部におけるキャリア教育

高校での学び

遊びの中で地域を感じ、体験する

→ 地域について学び、考え、伝える

→ 地域とつながり、人と関わる

→ 地域の課題を探究し行動・貢献する

